１学年通信

前　進

令和６年２月２２日
№１９
発行責任者：角田敏文
文　　責：中野帆奈美

○最近の授業の様子　～国語で百人一首をしました！～

早いもので２月も終わりを迎えようとしています。いよいよ中学１年生としてのまとめの時期に入ってきています。２年生に向けて、そして４月から後輩を迎えるにあたって気持ちを引き締めて過ごしてまいります。

先日２月２０日（火）から、国語の授業で「歴史的仮名遣いをマスターする」という目的で、「百人一首」に取り組んでいます。まず、百人一首とはどのようなものなのか、いつの時代にどういった目的で作られたのかなどを資料集を使って学習しました。その後、ルールの確認をし、ゲームに入りました。初めこそ慣れない様子でしたが、どんどんコツをつかみ皆で楽しく学習しています。この調子で、楽しく「歴史的仮名遣いをマスター」してくれることを期待しています。

「百人一首」は、古典の学習の一つであり、日本の伝統的な文化に触れる良い機会です。 また、声に出して読むことで古典のリズム感を味わったり、暗唱をして覚えた札を取るという達成感と自信を味わったりすることができます。苦手分野として捉えられがちな「古典」ですが、日本の文化に触れながら子どもたちの「もっと札をとりたい！」という純粋な気持ちを大切にし、主体的な学びにつなげていけるよう今後も授業に取り組んでいきたいと考えています。

○第２回生徒会総会　～学校をより良くするために質疑応答をしました～

２月１５日（木）に第２回生徒総会がありました。鮫中生として約１０ヶ月間生活をしてきました。毎日の生活の中で感じた「疑問」や「要望」を各専門委員会や部活動の代表に質問しました。質問する態度も堂々としており、声の大きさ、話すスピード、説明に対する受け答えなど、どれをとっても大変立派でした。

改めて、中学生としての自覚をしっかりもって日々成長してきたのだと強く感じることができました。

「学校を良くしたい」という気持ちをもって、堂々とした態度で質疑応答することができました。

新生徒会メンバーでの初めての大きな活動です。緊張した様子もありましたが、しっかりと会を進行していました。